

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【公開番号】特開2008-90306(P2008-90306A)

【公開日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2007-255512(P2007-255512)

【国際特許分類】

G 02 F 1/1333 (2006.01)

G 02 F 1/13357 (2006.01)

F 21 V 8/00 (2006.01)

F 21 Y 103/00 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/1333

G 02 F 1/13357

F 21 V 8/00 601 G

F 21 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月7日(2010.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液晶パネルと、

前記液晶パネルの後ろに備えられ、前記液晶パネルに面する出射面と、前記出射面に対向する反射面と、互いに対向する一対の入射面と、互いに対向する一対の側面とを含む導光板と、

前記導光板の各前記出射面に沿って備えられた一対の光源と、

一対のカバー部材と、

を含み、

各前記カバー部材は、前記入射面の一つとともに前記光源の一つを収容する第1部分と、前記第1部分から延長され前記導光板の前記反射面に面する第2部分とを含むことを特徴とする液晶表示装置。

【請求項2】

前記各カバー部材は、前記第2部分から延長され前記導光板の前記側面に面する第3部分をさらに含むことを特徴とする請求項1に記載の液晶表示装置。

【請求項3】

一対のサイドカバーをさらに含み、各サイドカバーは、前記導光板の前記側面の一つに沿って備えられ、前記一対のカバー部材に連結されることを特徴とする請求項2に記載の液晶表示装置。

【請求項4】

前記液晶パネルは、前記カバー部材及び前記サイドカバー上に固定されることを特徴とする請求項3に記載の液晶表示装置。

【請求項5】

前記液晶パネルと前記各カバー部材との間と、前記液晶パネルと前記各サイドカバーと

の間に備えられた弾性部材をさらに含むことを特徴とする請求項4に記載の液晶表示装置。

【請求項 6】

前記各カバー部材の少なくとも一部は、前記導光板の前記出射面に面することを特徴とする請求項5に記載の液晶表示装置。

【請求項 7】

前記液晶パネルの側部に面するパネルガイドをさらに含み、前記パネルガイドは、前記カバー部材内及び前記サイドカバー内のそれぞれに形成されることを特徴とする請求項5に記載の液晶表示装置。

【請求項 8】

液晶パネルと、

前記液晶パネルの後ろに備えられた導光板と、

前記導光板の対向する入射面に沿って備えられた光源と、

互いに分離され前記導光板を収容する少なくとも二つのサブカバー部材を含むカバー部材と、

を含み、

前記サブカバー部材の一つは、前記入射面とともに前記光源を収容することを特徴とする液晶表示装置。